

活動紹介



私たちは南アルプスユネスコエコパークで活動しています

HP : <https://www.minamialpsmtb.com/>
FB : <https://www.facebook.com/minamialps.mtb/>

2019/3/18
弭間亮

1

マウンテンバイクとは???



土の道を走る自転車



さまざまなカテゴリがある。

 南アルプスマウンテンバイク愛好会

2

ダウンヒル



マウンテンバイク専用コースを決死の覚悟で猛スピードで下る!!!! タイムを競う!



[Dirt & MOTO Magazine](#)より

 南アルプスマウンテンバイク愛好会

3

クロスカントリー



アップダウンの続く専用コースを漕ぎ続けてタイムを競う!!!! 全身タイツ!!!!



松本ゆうた撮影

 南アルプスマウンテンバイク愛好会

4

その他



フリーライド、エンデューロ、ダートジャンプ、トライアル、BMXなどなど。それらが更に細分化されたりもする。。。



www.redbull.comより

南アルプスマウンテンバイク愛好会

5

トレイルライド



最もポピュラーなカテゴリ。
シンプルに山の中のシングルトラック(細い山道)を好きなペースで走ることを楽しむ。タイムを競うことは無い。



南アルプスマウンテンバイク愛好会

6

そもそもトレイルって何？



トレイル≡シングルトラック(轍1つ)≡登山道
林道≡ダブルトラック(轍2つ)



南アルプスマウンテンバイク愛好会

7

世界的には、マウンテンバイク人口は非常に多く、その分、カテゴリも細分化されている。



先進国では、国家レベルで奨励し投資している国もあれば、法令、政策でマウンテンバイクを受け入れて産業や地域の活性化を実現している国もある。近年ではアジア圏の富裕層の中でマウンテンバイクが爆発的に人気になってきている。

その中で、日本は取り残され後進国となっている。

南アルプスマウンテンバイク愛好会

8

活動概要

日本のMTBマーケットは小さい。。。↓

今は、、、
・経済効果→×
・**労力での地域貢献→○**

先行事例を作っている

地域、行政との協働

- ・山林管理、登山道整備、古道整備
- ・防災訓練
- ・MTB体験イベント
- ・南アルプスユネスコエコパーク理念に沿った活動
- ・協働事業
- ・地域行事お手伝い
- ・シンポジウム開催 などなど。

社会的に受け入れられる
(制度化・政策化を目指す)

全国にフィールドが増え
マーケットが大きくなる

地域貢献・経済貢献
の両面を実現



南アルプスマウンテンバイク愛好会

9

南アルプスマウンテンバイク愛好会の概要



形態： 任意団体(完全なボランティア団体)

設立： 2016年1月(2013年に水面下で活動開始)

人員： 55名(首都圏29名 県内24名 その他2名)

理念：

マウンテンバイクの社会的地位を確立するため、

- ①地域社会との相互理解
- ②地域の文化活動及び経済活動の活性化
- ③地域資源の保全と持続的な活用

以上3つの理念に基づいたマウンテンバイク活動を行う。

南アルプスマウンテンバイク愛好会

10

活動状況(2018年度実績)



- 年間活動回数60回以上
- 年間来訪者数 のべ350~400名(貢献度の高い人たち!)

- ・高尾穂見神社夜祭りお手伝い
- ・春の例大祭お手伝い
- ・平岡区夏祭り参加&片付け
- ・平岡区有林内ゴミ拾い
- ・平岡区堰上げ
- ・平岡区河川美化
- ・「平岡まめちゃん」に年2回参加
- ・遊休農地開墾、草刈り
- ・トレイルビルド&メンテナンス
- ・パトロールライド
- ・マウンテンバイク体験会
- ・初心者ツアー
- ・視察対応
- ・取材対応
- ・他多数



南アルプスマウンテンバイク愛好会

11

山林山村関連のシンポジウムにも登壇



2017年3月 森林の有効活用をめぐる可能性と課題(森林総合研究所)

2018年9月 森林スポーツ新時代(東京大学)

2019年2月 マウンテンバイクシンポジウム(山梨県森林総合研究所)

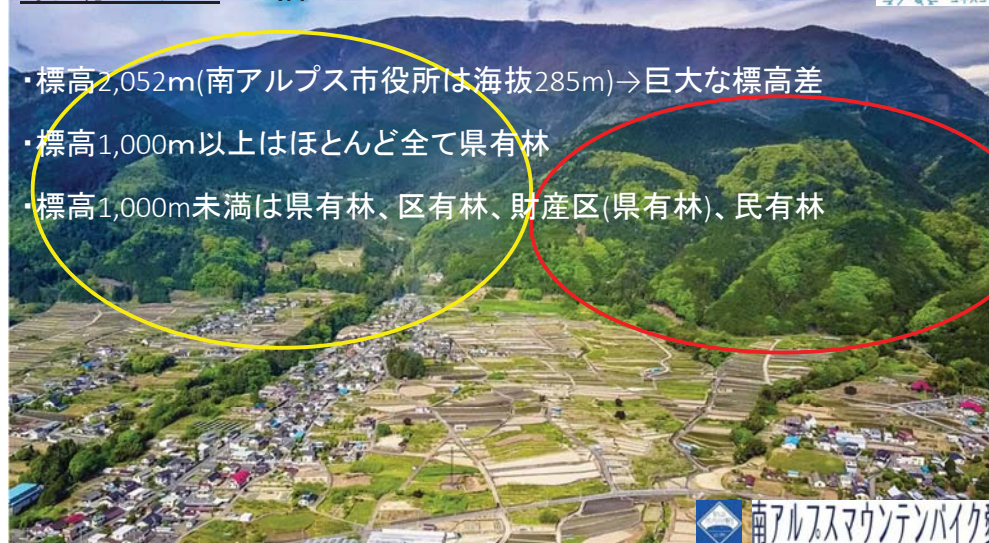


南アルプスマウンテンバイク愛好会

12

活動エリア： 櫛形山

- ・標高2,052m(南アルプス市役所は海拔285m)→巨大な標高差
- ・標高1,000m以上はほとんど全て県有林
- ・標高1,000m未満は県有林、区有林、財産区(県有林)、民有林



南アルプスマウンテンバイク愛好会

13

本会に関わる主なトレイル(国内ボランティア最大最長)

①曲輪田道

距離：2,955m
最高標高：864m
最低標高：437m
標高差：427m

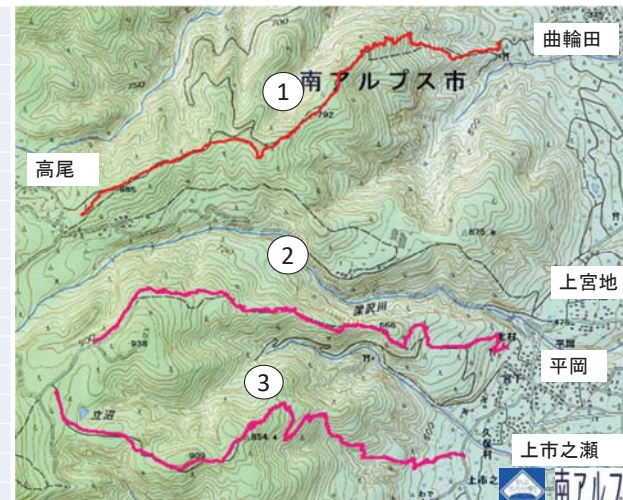
②深沢ルート

距離：3,058m
最高標高：936m
最低標高：504m
標高差：432m

③坂額ルート

距離：3,242m
最高標高：896m
最低標高：475m
標高差：421m

※迂回路延伸中



南アルプスマウンテンバイク愛好会

14

入会するには：日本で最もハードル高い



丸1日の入会説明会に参加し、合格



年会費5,000円、各種申請手続き、10数項目のルール厳守



- ・管理下のトレイルが走行可能
- ・会員活動に参加可能
- ・会員限定ページの閲覧可能、などなど。

南アルプスマウンテンバイク愛好会

15

本会の代表的な取り組み



- 1.山村集落の活性化
- 2.古道再生とマウンテンバイク利用
- 3.遊休農地の利活用
- 4.都市農村交流・世代間交流
- 5.登山道の倒木撤去作業

南アルプスマウンテンバイク愛好会

16

1.山村集落の活性化

・消えていた高尾穂見神社夜祭りの復活に寄与

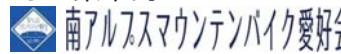
- 毎年10名以上でお手伝いをしている(6年間)。
- 副代表がお神楽の舞い、女子メンバーが巫女舞い、その他メンバーで駐車場係や誘導係、雑務全般を任されている。

・堰上げなどの行事お手伝い

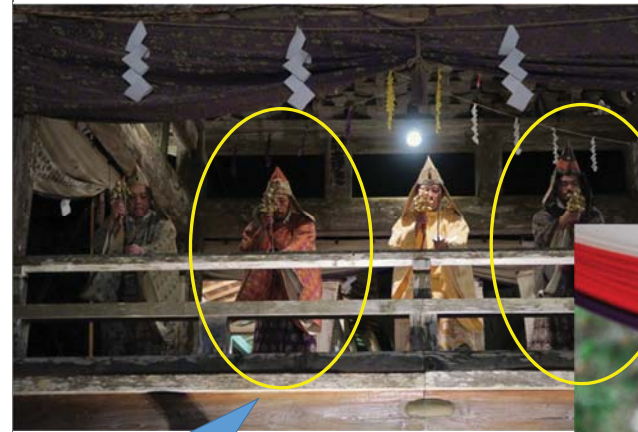
- 高齢化で堰上げや河川美化などの地域清掃活動が難しくなっている。それを毎年楽しくお手伝い。

・平岡区へ移住

- 空き家を借りて拠点にし、都会からマウンテンバイカーが頻繁に来て賑やかになり、さらに集落内でコミュニケーションが生まれている。
- 地元の情報が常に入ってくるので、地元で困っているところへ集中的に協力できるようになった。



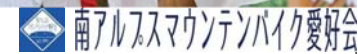
17



副代表 佐藤

林業親方

お神楽の舞い、巫女舞い (市無形文化財)



18



駐車場係、誘導係、雑用



19

あらゆる力仕事のお手伝い

大雪時の雪かき



堰上げ・河川美化



20

2. 古道再生とマウンテンバイク利用



活動開始半年程度で、趣旨を理解いただき、平岡区と協定を締結して区有林(約300ha)での「マウンテンバイク走行許可」と「古道整備許可」をいただいた。南アルプス市の仲介により実現。

- 現在区有林内2本、区有林外1本、計3本のルートを生産し利用中(1本約3 km、標高差約500m)
- 急傾斜地は迂回路を多く入れてトレイルビルドの実証実験をしている。
- 区有林内では不法投棄撤去、監視活動も独自に実施中。
- 高尾穂見神社夜祭りの際に利用される古道も再生し、通年パトロールとメンテナンスを行っている。
- 責任ある利用を図るため、走行は会員に限定



南アルプスマウンテンバイク愛好会

2 1

古道は倒木や岩、切り株だらけでした



南アルプスマウンテンバイク愛好会

2 2

伐木講習を受講した会員



地元林業会社も協力



南アルプスマウンテンバイク愛好会

2 3

古道も放置しておくと雨水で浸食し、いずれ崩落



南アルプスマウンテンバイク愛好会

2 4

水切りで分散して排水し、浸食を最小限に



2年後、浸食が止まっている。



トレイルビルドのノウハウを実戦で
試行錯誤しながら学ぶ



「南アルプスマウンテンバイク愛好会」山道整備の3原則

①安全

・スピードが出にくい、危険が無い、恐くない

②維持管理しやすい

・雨水で削れにくい、ブレーキで削れにくい

③楽しい

・遠心力やフロー感、操る楽しさ

優先順位



区有林内の清掃活動とパトロール



南アルプスマウンテンバイク愛好会

29

危機管理の体制



- 入山届、下山届提出義務化
- ウィルダネスアドバンスドファーストエイド野外救急資格取得者4名
- ウィルダネスベーシックファーストエイド野外救急資格取得者2名
- 山岳救助等経験者1名
- 山岳ガイドステージⅡ相当有資格経験者1名
- PMBI国際マウンテンバイクガイド資格取得者2名
- 伐木講習 受講者 多数
- 刈払機講習 受講者 多数
- 地元林業会社の協力による危険木処理
- 顧問医師 山梨県医師会副理事長



南アルプスマウンテンバイク愛好会

30

3.遊休農地利活用



- ヤブとゴミだらけだった遊休農地がきれいに



南アルプスマウンテンバイク愛好会

31

農業もマウンテンバイクも体験できる



- 山を走る基礎技術を身につけられる練習場にもなっている。



南アルプスマウンテンバイク愛好会

32

遊休農地→ぶどう畑



・ワイン醸造用ぶどう(カベルネ・ソーヴィニヨン)を栽培。
栽培を始めて3年目となり今年から醸造開始。



南アルプスマウンテンバイク愛好会

3 3

地元ゼネコン「早野組」の協力も得て 遊休農地を開墾



南アルプスマウンテンバイク愛好会

3 4

4. 都市農村交流・世代間交流

ひたすらしゃべる、話を聞く



南アルプスマウンテンバイク愛好会

3 5

地域コミュニティ: 平岡まめちゃん



南アルプスマウンテンバイク愛好会

3 6

年2回活動報告やおしゃべり



南アルプスマウンテンバイク愛好会

地元の若者たちが立ち上がる:平岡夢の会



盆踊り



マウンテンバイクコースづくり



飲み会乱入

バイク愛好会

地元のお店も利用しまくり



地域の発信もする



5. 登山道の危険木撤去作業

知人のFacebookの投稿で知った台風1ヶ月後の櫛形山。。



管理人が常駐する山小屋等がないため、迅速な対応が難しい

写真は小川さんのFacebookより



4 1

5. 登山道の危険木撤去作業

衝撃を受けた。。

自分たちが了解を得たエリアだけを整備し続けており、そこに集中しすぎて、標高の高いエリアの登山道の維持管理状況をすっかり考えずにいた。

6年間、山麓域で山道の維持管理に関わるあらゆるノウハウを蓄積していた本会は、櫛形山エリアでは非常に機動力があり対応可能な組織なのではないか！！！！



ということに、なぜもっと早く気づかなかったか！！！！
非常に悔しく思ったとともに、
総力をあげて即行動に移した！！！！



4 2

5. 登山道の危険木撤去作業

まずは、これまで地域で築き上げた信頼とネットワークで、櫛形山登山道に関わる各団体に連絡を取る。

- ・芦安ファンクラブ
 - ・南アルプスガイドクラブ
 - ・櫛形山を愛する会
 - ・南アルプスネイチャーガイド協会
 - ・一八会(地元猟友会)
- 北岳はじめ南アルプス核心部の登山道崩壊等の対応で多忙。
- 高齢化でアヤマ平付近の植生保護で手一杯、登山道までは手が回らない。
- なかなか予定を合わせられない。連携を取りながら個別でできる範囲で作業を進めていただくことに。
- 猟期で忙しい。

ということで、それぞれの団体から「よろしく！」と任されてしまった！



4 3

5. 登山道の危険木撤去作業

南アルプス市観光商工課に提案したところ、非常に感謝され、互いに協力して対応していくことになった。



4 4

櫛形山の主要ルート状況を2日で調査



危険木本数200本以上！！



南アルプスマウンテンバイク愛好会

総延長約40km(うち10kmは本会管理)



南アルプスマウンテンバイク愛好会

市役所に調査結果を伝え、自分たちで危険木撤去やサイン付けを実施

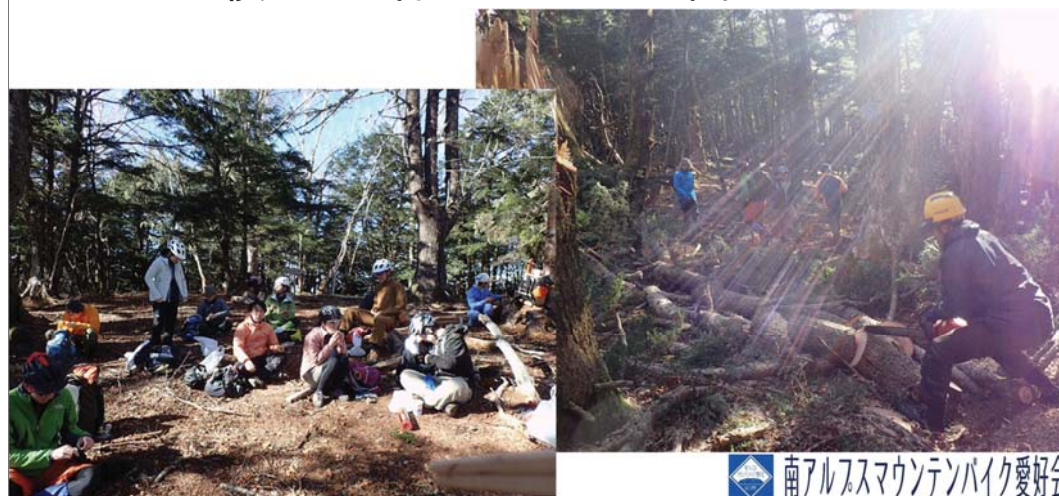


ルート不明瞭な箇所に赤リボン



南アルプスマウンテンバイク愛好会

作業には林業従事者を含む山慣れた若いメンバーが集合



南アルプスマウンテンバイク愛好会

地元の林業会社「南アルプス林業」も無償協力



南アルプスマウンテンバイク愛好会

49

5回におよぶ総力をあげた撤去作業により、降雪までに、ほぼ全ての登山道の危険木を撤去完了。



安心して歩くことが出来るようになったため、関係者だけでなく、作業中に通り過ぎる登山者の方々からも、感謝の言葉をいただいた。

南アルプスマウンテンバイク愛好会

50

危険木撤去における関係関係

南アルプス市役所

- 課題:**
- ・地域や地元団体などの連携したい
 - ・台風被害の状況を知りたい
 - ・登山道を安全に利用できる状態にしたい
 - ・人手不足、予算
 - ・リスクマネジメント
- できること:**
- ・社会的信用
 - ・関係機関や各部署等との調整

協力・連携

楯形山の活動組織



- 登山団体、自然保護団体**
- 課題:**
- ・他の登山道でも同様に深刻で手がまわらない
 - ・高齢化、人員不足
- できること:**
- ・情報提供
 - ・アドバイス
 - ・植生保護活動

協力・連携

マウンテンバイク

- 課題:**
- ・走行環境の確保
 - ・行政との強力なコネクション
- できること:**
- ・労働力、機動力、動員力
 - ・山道整備のノウハウ
 - ・徹底した安全管理
 - ・地域とのコネクション

協力・連携

地元林業会社

- 課題:**
- ・地元のために何かしたい
- できること:**
- ・危険木、かかり木などの撤去作業のプロ集団

南アルプスマウンテンバイク愛好会

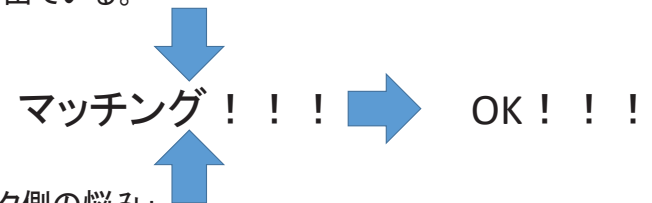
51

現在、2つの財産区に連携を提案



財産区の悩み:

少子高齢化と仕事の変化によって、山に入る人、入れる人がいなくなった。県から借りている山林の管理や地代の支払いにも支障が出ている。



マウンテンバイク側の悩み:

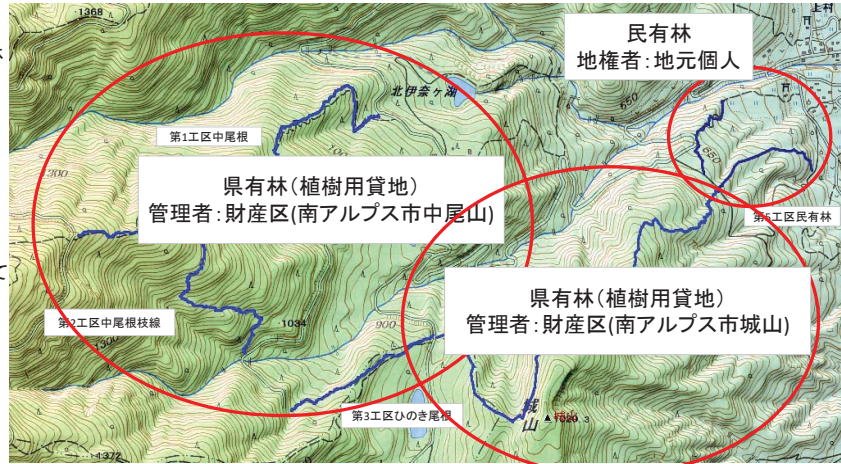
- ・走行環境を確保したい。
- ・地域に貢献することでイメージアップを図り、社会のマウンテンバイクに対するイメージを変えたい。

南アルプスマウンテンバイク愛好会

52

2つの財産区が管理する山林

2つの財産区と民有林
 最高標高:1450m
 最低標高:550m
 標高差:900m
 総延長:約9km



※民有林利用に関しては、すでに地権者了解済み。

連携に関する協議の状況

本会からの **山林の巡視** について提案

山林管理の一環として、財産区内のむかし道や既存の作業道、登山道を巡視路として整備し、マウンテンバイカーが山林管理の巡視員としてマウンテンバイクを使って機動的にパトロールを実施。

これまで、何度も現地打ち合わせや協議を重ね、

- ・地権者の山梨県
- ・管理者の財産区
- ・財産区事務局の南アルプス市の3者とは、概ね順調に調整が進んでいる。

協力・連携について① 地域

課題:

- ・地域行事での人手不足
- ・遊休農地
- ・山林管理
- ・ゴミ
- ・若年層の流出
- ・高齢化
- ・空き家

できること:

- ・山や山道を持っている
- ・地域についての知識、人脈
- ・農作業などのノウハウ、機材
- ・地元の食材
- ・労働力、コミュニケーション

マウンテンバイク

課題:

- ・走行環境(許認可)
- ・行政とのコネクション
- ・様々な作業の専門的知識、機材
- ・田舎生活への興味
- ・山林山村の情報

できること:

- ・山林利活用
- ・労働力、機動力、コミュニケーション
- ・山道整備のノウハウ
- ・徹底した安全管理
- ・地域とのコネクション
- ・山林の現状把握
- ・自転車乗車技術教育

協力関係のまとめ② 行政(市・県)

行政(市・県)

課題:

- ・地域や地元団体などと連携したい
- ・登山道管理
- ・ユネスコエコパーク
- ・人手不足、予算
- ・リスク
- ・教育

できること:

- ・地域からの信用
- ・関係機関や各部署との調整
- ・許認可
- ・施策への位置づけ

マウンテンバイク

課題:

- ・走行環境(許認可)
- ・行政とのコネクション
- ・様々な作業の専門的知識、重機
- ・田舎生活への興味
- ・山林山村の情報

できること:

- ・山林利活用
- ・労働力、機動力、コミュニケーション
- ・山道整備のノウハウ
- ・徹底した安全管理
- ・地域とのコネクション
- ・山林の現状把握
- ・自転車乗車技術教育

協力関係のまとめ③

登山団体、自然保護団体

課題:

- ・他の登山道でも同様に手がまわらない
- ・高齢化、動員力
- ・伐木等の技術

できること:

- ・情報提供
- ・登山道管理のアドバイス
- ・植生保護活動

地元林業会社

課題:

- ・地元の山のために何かしたい

できること:

- ・危険木、かかり木などの撤去作業のプロ集団

マウンテンバイク

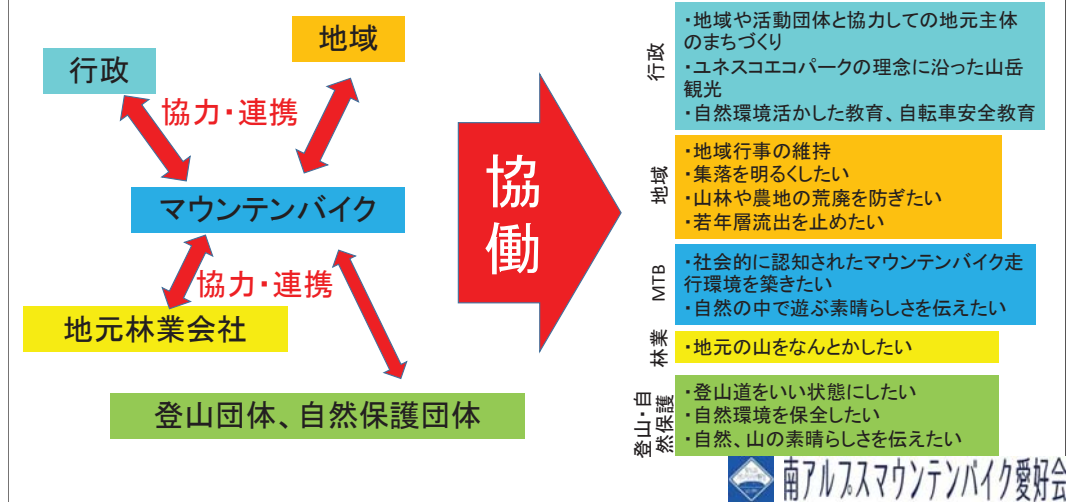
課題:

- ・走行環境(許認可)
- ・行政とのコネクション
- ・様々な作業の専門的知識、機材
- ・田舎生活への興味
- ・山林山村の情報

できること:

- ・山林利活用
- ・労働力、機動力、コミュニケーション
- ・山道整備のノウハウ
- ・徹底した安全管理
- ・地域とのコネクション
- ・山林の現状把握
- ・自転車乗車技術教育

できること、得意分野で互いの課題に対し
協力・連携することで互いの目的を達成する！



「サイクル王国やまなし」実現のために
MTBを本推進計画に加えた場合のメリット

- ①「観光振興」が健全に拡大
- ②「安全」乗車基礎技術
- ③「防災」強化

①「観光振興」拡大

トレイルシェアの推進

現状の課題:

日本の自転車マーケットにおいて、海外と比較してマウンテンバイクの市場が極端に小さい。

取組み:

近年増加しているマウンテンバイカーやトレイルランナーが、トラブルを起こさず共存できる環境を整備する。(減速や一時停止などの工夫、看板設置、ルールブック作成など)

①「観光振興」拡大



MTBでの登山道の巡視

現状の課題:

県、市町村とも登山道の維持管理に十分な予算を確保することが難しい。また地元登山団体、自然保護団体も人手不足や高齢化が進む。

取組み:

MTB利用による登山道巡視の仕組みづくり。地元市町村や他団体との連携。



6 1

②「安全」乗車基礎技術



今年5月、南アルプス市立櫛形西小学校で「自転車安全乗車技術教室」を開催予定。これまでもマウンテンバイク体験イベントを開催。

マウンテンバイクは自転車乗車技術の基礎が凝縮されている。子どもたちは楽しく自転車の安全な乗り方を学ぶことができる。



6 2

③「防災」強化



事例: 3.11、地元防災訓練、海外の警察や消防



本会メンバーの上野さん、気仙沼出身、被災し命からがら避難。



6 3



上野さんのトラック



どこもかしここの状態



上野さんの倉庫



道路もボロボロ



6 4

MTB(マウンテンバイカー)であればどんな状況でも広範囲に移動可能。



この状況でもMTBであれば安全に走れる。



この状況でもMTBであれば担いで越えられる。

③「防災」強化

南アルプス市西地区、平岡区での防災訓練

山梨県は山間部に集落が多く、またその住民の多くは高齢者。

その集落や各家庭が孤立する可能性がある。毎年、防災訓練で、本会メンバーがMTBで集落内の各家庭の安否確認を行い、本部との伝令役を果たしています。



③「防災」強化

気仙沼唯一のマウンテンバイカー上野さん

瓦礫の山ではオートバイも他の自転車も刃が立たない中、山でも街でも普段からMTBに乗っていた上野さんは、震災直後からMTBで奔走し続けた。上野さんは言い切る。

「震災時の初期対応は絶対にMTB」

- ・避難所をMTBで3日間まわり続けて母の安否確認
- ・孤立した避難所をMTBでまわって情報収集
- ・MTBで小さな避難所や個人宅への物資の輸送
- ・水場や隠された裏道や山道にも詳しく直感で対応ができる。
- ・道路が荒れて傾いても難なく走り続けることができた。
- ・持っていたバーナーを乳幼児のお湯沸かしに提供した。

③「防災」強化

海外の警察や消防では以前からMTB導入



英国・サウサンプトン



米国・シアトル

③「防災」強化



山梨県全域で防災を強化するには、



まずは普段からMTBに親しむ人口を
少しずつ増やしていくことが必要。



69

まとめ



以上のことを山梨県全域で実施するには、



まずはMTB人口増加を目指す。



自転車活用推進計画にマッチした「サイクル王国やまなし」実現を大きく後押しすることができる。



70

ご清聴ありがとうございました！！！！



私たちは南アルプスユネスコエコパークで活動しています

HP : <https://www.minamialpsmtb.com/>
FB : <https://www.facebook.com/minamialps.mtb/>

71